



笹小だより



④ 令和8年6月2日号

伊丹市立笹原小学校

59年の歩みを、未来へ

6月1日（月）、本校は59回目の創立記念日を迎えました。昭和42年、1～4年生11学級でスタートした笹原小学校は、今年度、1～6年生と特別支援学級で32学級となりました。長い歴史の中で、多くの子どもたちが学び、成長し、地域の皆様に支えられながら歩んできたことを改めて嬉しく感じています。給食時には、子どもたちに校章の意味について放送で伝えました。中央には伊丹市章、その周囲を囲む3枚の笹の葉には、「知・徳・体」の意味が込められています。学ぶ力、思いやる心、健やかな体を大切にする本校の教育目標を表しています。

また、子どもたちに親しまれている「ささたん」は、50周年を記念して誕生しました。当時2年生だった児童のアイデアから生まれ、今年で「9歳」になります。来年度はいよいよ60周年を迎えます。これからも、子どもたちが安心して学び、笑顔で過ごせる学校を目指し、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。

今後とも、本校教育推進へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校を支える高学年の姿

先日、学校朝礼を行いました。今回は、5・6年生の各委員会の代表が全校児童の前で、委員会活動について紹介してくれました。日頃から学校を支えるために活動してくれている5・6年生ですが、今回の発表では、それぞれの代表として、「よりよい笹原小学校にしたい。」という思いが伝わってきました。

これからも、子どもたち一人ひとりが学校作りの担い手として、自ら考え、行動できる姿を大切に育てていきたいと思っています。



6年生から1年生へ やさしさのバトン



音楽室をのぞいてみると、6年生が1年生に「さんぽ」の合奏をプレゼントしていました。その後は、ペアになって自己紹介やジャンケン遊びを楽しみ、校歌も優しく教えてくれました。6年生は、1年生が安心して学校に慣れていけるようにと、学校を案内したり、掃除の仕方を教えたりしながら関わってくれています。6年生は、だれもが優しい表情で1年生に接し、1年生もお兄さんお姉さんと過ごす時間をとても嬉しく思っているようでした。異学年でつながり、支え合いながら学ぶよさを感じる、温かなひとときになっていました。

令和7年度より、イベントチラシ等は教育委員会ウェブサイトに掲載されています。紙資源やその配送に必要な燃料等の節減、学校での配布に関する作業等軽減によるものです。掲載場所は、以下リンクからご確認願います。

https://www.city.itami.lg.jp/KYOIKU_IINKAI/ed-event/index.htm

